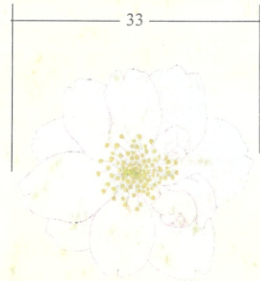


詳細図



◎観察数

花径	35	33	35	33	35	32	29	28	36	35
花卉	12 (2)	7 (1)	8 (1)	10 (1)	11	7	9	12 (1)	13 (2)	10 (2)
おしべ	83	85	91	72	80	85	83	87	85	84
めしべ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

花卉のところの()の中は旗弁の数

平均 花径 33.1mm
 花卉 9.9枚
 おしべ 83.5枚
 めしべ 1本



ヒロシマ エバヤマザクラ (広島江波山桜)

- ◎形状 樹高 約14.1m
 枝張 (東西)23m (南北)20m
 双幹 目通周 (大)2.5m (小)1.7m
- ◎樹齢 推定150年
- ◎樹勢 良
- ◎所在地 広島市中区江波二本松二丁目
 江波山公園

いつか世界の人々の心に
 花開くことを願って。



◎特徴
 ヒロシマエバヤマザクラは、高さ約十四mの木で、推定年齢は百五十年。枝が大きく広がり、満開時には淡いピンク色の花がびっしり咲きます。ヤマザクラの花びらが五枚なのに対し、ヒロシマエバヤマザクラは五〜十三枚。咲き方も縦長に開く八重咲きとは異なり、水平に開花し、花と枝を結ぶ花梗も通常のヤマザクラの倍の長さがあります。

私たち日本人は、古来より桜を“春告げ花”と呼び、特別の愛情と美学を抱いてきました。さて、九四年四月、江波山公園で、珍しいヤマザクラが発見されました。花びらの数や咲き方などが通常のものとは異なるため、京都の桜守三代目にあたる佐野藤右衛門氏に鑑定をお願いしたところ、非常に特異な花で、過去の文献にもなく、全国でも類を見ない珍しい品種であることがわかりました。そこでこの桜を、「ヒロシマエバヤマザクラ」と命名しました。この桜は、地元の古老たちが子供の頃、すでに華やかに春を彩っていたそうです。戦後五十周年を迎える節目の年にこの桜に出逢えたことは、不思議な縁と思えてなりません。永い歲月、淡々と春を告げてきたこの桜を誇りに思うと同時に、広島を代表する花にふさわしいと考えました。広島で咲く春告げ花・ヒロシマエバヤマザクラが、平和を謳う可憐な使者として、世界中の国々で、そして街角で春を告げると同時にメッセージを綴ってくれたら、どんなに素晴らしいでしょう。いつか、この桜が、世界の人々の心に根づき、美しく花開くことを願って、大切に育てていきたいと思います。



ヒロシマ
エバヤマザクラ

